

## 4. 漁海況速報事業

友利昭之助

### A. マグロ旬報

遠洋マグロ漁業に従事している50トン以上の大型当業船から、那覇漁業無線局をとおり毎日の漁況を入手し、集計整理の上「マグロ旬報」として各マグロ会社、関係機関に送付した。

期間：1968年7月上旬(No.103)～1969年1月下旬(No.123)の21回。

当水研の基本方針として沿近海漁業に関する調査研究に主眼をおくたてまえから、マグロ旬報はNo.123をもって打切つた。

1967年、1968年の各遠洋マグロ船の漁獲成績を月別に2°区画をもつて釣獲率等について分析した。

### B. カツオ漁況速報

座間味、石垣のカツオ船から、毎日の漁況報告を受け、漁場図を作製し、各カツオ船、関係機関に送付した。4月下旬～9月中旬まで12回。

### C. 海況速報

1969年3月17日～3月29日に実施した海洋観測結果を関係機関に送付した。

## 5. 海洋観測

友利昭之助・新里喜信・当真武

### 目的

琉球海域の海況に強い影響を与える黒潮流域及びその縁辺域の海洋観測を行ない海洋構造を明らかにし、海況と漁況との関連性を究明するため実施した。

### 方法

本水研調査船函南丸(159.2t)により、台湾西表間、石垣宮古島沿岸の海洋観測(0～300mまでの10層における水温その他)を表1の通り実施した。

第1表 1969年度海洋観測実施状況

	観測年月日
第1次	3月17日～3月29日
第2次	6月10日～6月16日